

練馬区プレスリリース 送付日 2016年6月21日

区長室 広聴広報課 広報戦略係 電話 03-5984-2693

Yori  
Dori  
Midori  
よりのどりみどり

事前のお知らせ

児童文学者・いぬいとみこの世界を紹介

石神井公園ふるさと文化館 特別展

「いぬいとみこ - ながいながい おはなしを みんなに」を開催します

と き 平成28年6月25日(土)～8月14日(日) 午前9時～午後6時 ※月曜休館

ところ 練馬区立石神井公園ふるさと文化館(練馬区石神井町5-12-16)

区は、25日から、石神井公園ふるさと文化館(石神井町5丁目)で「いぬいとみこ～ながいながい おはなしを みんなに～」を開催します。(入館無料、観覧料：一般300円、高校生・大学生200円、65～74歳の方150円、中学生以下と75歳以上の方は無料)

このイベントは昭和40(1965)年から練馬区内で家庭文庫「ムーシカ文庫」を始め、以後約23年間に渡り、子どもたちとの交流を重ねてきた、いぬいとみこ氏の生涯をたどりながら、子どもを見つめるなかで生まれた「いぬい作品」の魅力をお伝えします。

会期中にはムーシカ文庫についての座談会や読み聞かせ、講演会など様々なイベントを用意しております。

ぜひ取材していただきますよう、お願い申し上げます。



▲いぬい とみこ氏



▲読み聞かせをする  
いぬいとみこ氏

### 【会期中のイベント】

#### ① 座談会「ムーシカ文庫といぬいさん」

内 容：いぬい氏が開設していた家庭文庫「ムーシカ文庫」についての思い出を、当時の世話人や卒業生からお聞きします。

ゲスト：木下惇子氏(きのしたあつこ)(元ムーシカ文庫世話人)、関日奈子氏(せきひなこ)(ねりま文庫連絡会代表)、小松原宏子氏(こまつばらひろこ)(ムーシカ文庫卒業生)

日 時：7月9日(土) 午後2時～3時

会 場：石神井公園ふるさと文化館多目的会議室

定 員：100名(抽選)

#### ② 学芸員による展示解説会

日 時：7月10日(日)、20日(水)、8月14日(日) いずれも午後2時～(45分程度)

会 場：石神井公園ふるさと文化館2階企画展示室

#### ③ おはなし会「ムーシカ文庫を体験しよう」

内 容：ムーシカ文庫を再現した空間での読み聞かせ会です。

読み手：ムーシカ文庫卒業生ほか

日 時：7月18日(祝)、28日(木) いずれも午後2時～2時30分

定 員：30名(先着順)

会 場：石神井公園ふるさと文化館 2階企画展示室

#### ④ 講演会「児童文学者・いぬいとみことその時代」

内 容：児童文学者としてのいぬいとみこ氏の姿、文学作品の魅力を、いぬい氏と交流のあった斎藤惇夫（さいとうあつお）氏からお話を伺います。

講 師：斎藤惇夫氏（児童文学者）

日 時：8月13日（土）午後2時～3時30分

定 員：100名（抽選）

会 場：石神井公園ふるさと文化館多目的会議室

※申込方法：【①、④】は往復ハガキに「イベント名」「参加者全員（2名まで）の氏名（ふりがな）」「住所電話番号」を記入し、【①】6月30日（必着）【④】7月21日（必着）までに〒177-0041 練馬区石神井町5-12-16 石神井公園ふるさと文化館あてにお送りください。【②、③】は当日会場にて受付。

#### 【参考】いぬいとみこ氏について

いぬいとみこ（1924～2002）氏は、生前に練馬区に住み、子どもたちとの交流をもとに作品を生み出してきた児童文学者で、大学卒業後、保母（現在の保育士）を経たのち岩波書店へ就職しました。編集者として務めるかわらで精力的な創作活動を続け、ふたごのどうぶつ物語『ながいながいペンギンの話』（昭和32（1957）年）や『北極のムーシカミーシカ』（昭和36（1961）年）などの代表作品を世に送り出しました。



▲ながいながいペンギンの話  
初版 宝文社 1957年  
（著：いぬいとみこ）

#### 【参考】ムーシカ文庫について

ムーシカ文庫は、1965年に近所の幼稚園の一室から始まり、1988年まで練馬区で開かれていた文庫です。二度の移転を余儀なくされながらも、いぬい氏は「岩波カニグズバーグ」の翻訳者、松永ふみ子氏と一緒に、本と子どもたちのために、一緒に駆け回りました。

二人は、預金通帳と自宅を抵当に入れて、一千万円の借金をしながらも、オオカミ原っぱに「ムーシカ文庫」の小さいお家を建てました。

このように、仕事の傍ら、数々の物語を創作し続け、地域の子どもたちのために、開いていたものがムーシカ文庫です。

【問い合わせ】 石神井公園ふるさと文化館 電話 03-3996-4060